



携帯電話用QRコード

新庁舎建設基本設計の完成を目指して 市民ワークショップの参加者を募集します

問 企画調整課新庁舎担当 ☎042・709・0593

新庁舎建設基本設計市民ワークショップ 参加者の募集について

これまでも本紙でご案内のとおり、市では昨年10月に設計者横文彦氏の所属事務所(横総合計画事務所)と委託契約を締結し、新庁舎の基本設計を開始しました。現在、設計に必要な調査を実施しながら、今年度中を目途に基本設計の検討原案を作成しています。今後は、この検討原案をもとに市民参加によるワークショップを開催し、頂いたご意見を設計に反映しながら今年10月には基本設計の完成に至りたいと考えています。

そこで、基本設計の完成を目指して市民ワークショップの参加者を募集します。

【活動内容】

新庁舎建設基本設計市民ワークショップは、市民50人程度で構成され、基本計画をもとに設計者が作成した基本設計の検討原案について、10人ずつ5つのグループに分かれて検討します。

【検討事項】

市民が利用する機会が多い区域を中心に次のようなものを想定しています。

パブリックゾーンについて

(例)「相談窓口」「待合スペース」の機能や利用方法など
市民協働・市民利用ゾーンについて

(例)「食堂や喫茶コーナー」「市民協働スペース」「情報・展示コーナー」の機能や利用方法など
庁舎周辺ゾーンについて

(例)「庁舎敷地の緑地」「広場」の機能や利用方法など
なお、右に挙げられている検討事項は、あくまで参考です。

【募集内容】

対象 町田市在住で18歳以上の方
募集定員 50人程度

新規募集枠30人程度
旧市民委員枠20人程度(庁舎問題検討委員会・新庁舎建設基本計画策定委員会参加者)

開催期間 2007年3月から2007年8月まで(原則土・日曜日開催 全6回)

謝礼 1回につき2000円(税込)

【応募方法】

「応募はがき」でご応募ください。下のはがき(切手不要)を切り取り、氏名、住所、電話番号、性別、年齢と、(1)参加を希望する理由、(2)参加して提案したいこと、を記入いただき、2月28日(水)(必着)までに企画部企画調整課新庁舎担当までお送りください。

応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

応募の結果については3月9日(金)までに、応募者全員に文書でお知らせします。

【特記事項】

ワークショップは、公開で行われます。お送りいただいた応募はがきは、個人を特定できる部分を除き、公開される場合がありますので、あらかじめご承知おください。

規模設定の前提条件

項目	想定数
計画人口	約43万人
新庁舎に配置する職員数	1,314人
議員数	46人

施設規模

項目	計画規模
事務室	31,500㎡
地下駐車場	5,000㎡
市民協働空間や防災拠点機能、その他必要な諸機能空間	3,500㎡
合計	40,000㎡

敷地条件

敷地面積	約18,000㎡	
建築可能延床面積	約57,700㎡	
法的規制	用途地域	前面16m幅員道路端から30mの部分 近隣商業地域
	建ぺい率	80%
	容積率	400%
	日影規制	-
高度地区	-	5時間、3時間 第3種高度地区
防火指定	防火地域	準防火地域

【新庁舎基本計画概要】

新庁舎の備えるべき姿

- 市民に開かれ便利で使いやすい庁舎
 - ワンストップ行政サービスの導入
 - 市民協働や市民交流が活発に展開される庁舎
 - 情報の提供・発信機能が充実した庁舎
 - 今後の社会と環境に対応した機能・性能を実現した庁舎
 - 災害等への安全・安心を確保した庁舎
 - 誰にもわかりやすく、使いやすい庁舎
 - 環境の持続性と健康に配慮した庁舎
 - 高度情報化社会に対応できる庁舎
 - 諸機能が適切に配置され将来の変化に柔軟に対応できる庁舎
 - 市民に開かれ充実した議会施設を備えた庁舎
 - 効率的に業務が遂行できる庁舎
 - 将来の変化への柔軟な対応と長寿命の実現
 - 適正なライフサイクルコストの実現
- *新庁舎の基本計画や、その他の新庁舎関連資料については、市政情報やまびこで閲覧できるほか、町田市ホームページでもご覧いただくことができます。

【ワークショップとは】 説明会や公聴会などのように一方向への意見表明ではなく、参加者一人一人が主体となってグループ討議を行い、参加者同士の双方向の活動の中からアイデアをまとめていく手法のことです。

新庁舎建設基本設計市民ワークショップ
参加専用はがきでご応募ください
2月28日(水)必着

専用はがき

料金受取人払



差出有効期間
平成19年3月31日まで
(切手不要)

郵便はがき

194-8701

町田市中町一丁目20番23号

町田市役所企画部企画調整課
新庁舎担当 行

氏名		
住所	(〒 -)	
電話	(受付印)	
性別	男 ・ 女	
年齢	歳	
どちらかに	ワークショップ に応募	アイデア・ 提案のみ

図1 新庁舎建設地の位置



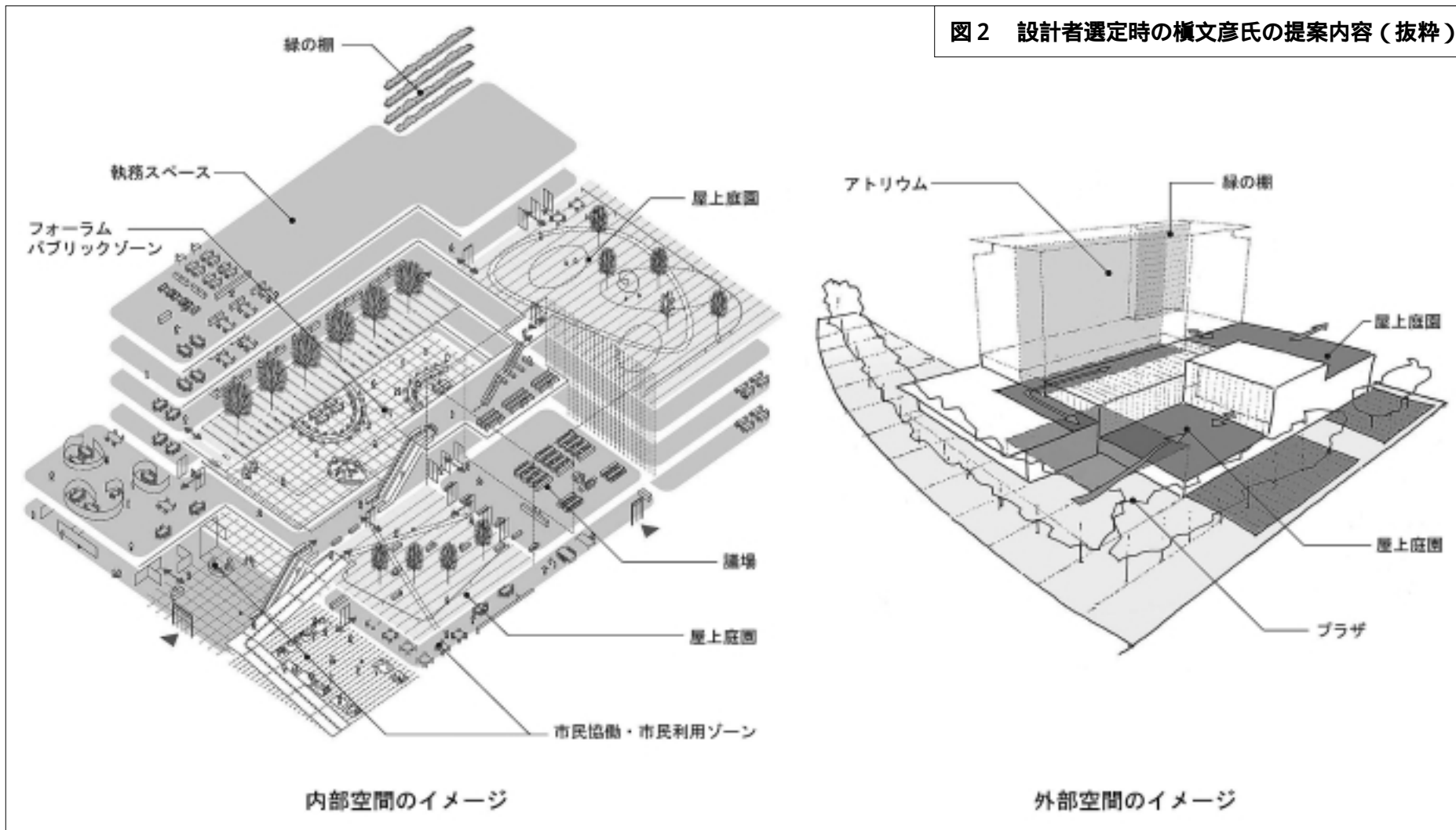


図2 設計者選定時の横文彦氏の提案内容(抜粋)

【基本設計に至るまでの経緯】

新庁舎の基本設計に至るまでには、図3に示したように、様々な検討過程がありました。現在の本庁舎は、1970年に建設されましたが、その後、耐震性能や庁舎の分散・狭あい化など多くの問題を抱えることとなり、行政や議会を中心に、問題解決のための様々な検討が行われてきました。このような状況の中、1999年に庁舎移転を視野に入れて森野二丁目の用地が購入され、以後、庁舎の問題解消のための本格的な検討が市民を交えて行われるようになりました。

2004年3月には、市役所の位置を定める条例の一部を改正する等の条例案(森野二丁目用地への移転条例案)が、議会に設置された庁舎等検討特別委員会の検討を経て、本会議において、出席議員の3分の2以上の賛成により可決されました。

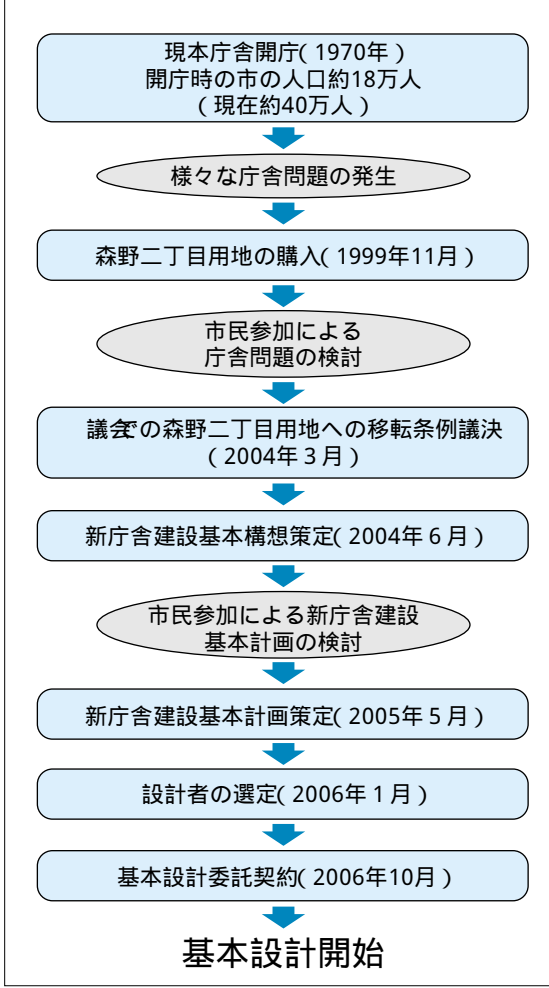
2004年6月には、様々なかたちで皆様からの意見をいただき「新庁舎建設基本構想」を策定しました。また、続く「新庁舎建設基本計画」の策定に際しては、市民部会を設置して、これまでのように単に行政が企画運営する会議に参加するのではなく、市民自らが会議の企画運営を行って主体的に報告書をまとめあげるなど、他の自治体においてもあまり例を見ない、市民協働における先駆的取り組みも行われました。

新庁舎建設の指針となる「基本構想」「基本計画」が、このように市民や学識経験者の参画により策定されてきたことは、町田市の新庁舎建設計画の大きな特徴といえます。

このような経緯から、設計者の選定にあたっては、新庁舎建設の「基本構想」「基本計画」を十分理解し、その方向性に沿った設計を行うことのできる設計者、また、設計の過程において、町田市の特徴を生かし、市民や行政、議会と一体となって多面的に練り上げる能力のある設計者を選ぶことが重要と考え、単に価格のみを選考基準とする入札方式は採用せず、町田市新庁舎の設計を委ねるにふさわしい、適性を備えた設計者を選定するための方式(「資質(適性)評価型簡易提案方式」)を採用して選定しました。

その結果、最優秀者として、横文彦氏が選ばれ、2006年10月に、同氏の所属事務所(横総合計画事務所)と委託契約を締結し、新庁舎の基本設計を開始しました。

図3 新庁舎建設計画に関するこれまでの経過



設計者横文彦氏について

【主な作品】

ヒルサイドテラス(代官山)、幕張メッセ、東京体育館(千駄ヶ谷)、藤沢市秋葉台体育館、スパイラル(表参道)、テレビ朝日(六本木)、国立国語研究所(立川)、福井県立図書館・文学館、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス

【現在進行中のプロジェクト】

ニューヨークワールドトレードセンター・タワー4、三原市新文化会館、鳥根県立古代出雲歴史博物館

新庁舎建設基本設計市民ワークショップに参加を希望する理由と提案したい内容をお書きください。

専用はがき

(1) 参加を希望する理由

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

(2) 参加して提案したいこと

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

アイデア募集中

市では新庁舎建設に向けて、市民のみなさまからのアイデアや提案を募集しています。手紙、ファックス、電子メールでいつでもお寄せください。また、右の応募はがきを利用してお送りいただくこともできます(この場合は3月31日まで)。応募はがきをご利用の際は、スペースを自由にご活用ください。

お寄せいただいたアイデアや提案は、今後建設計画を進めていく際の参考資料とさせていただきます。

【送付先】〒194-8520 町田市中町1-20-23 町田市役所企画部企画調整課新庁舎担当
☎709・0593 FAX709・0613 電子メール(町田市ホームページの「市政情報」「新庁舎計画」「新庁舎建設に関するご意見ご要望」から送信できます)